

大阪損保革新懇ニュース

No. 74
2006. 4. 25

大阪損保革新懇事務局
大阪市中央区道修町三の三の十
大阪屋道修町ビル3F 066332055

4 / 1 2

西谷文和氏「イラクの現実から憲法を考える」

講演会に部屋一杯の四五名の参加で成功！

講演会シリーズ第二弾として、四月二日(水)アイクルの部屋で、フリージャーナリストの西谷文和氏(イラクの子どもを救う会)を招いて「イラクの現実から憲法を考える」と題しての講演会を部屋一杯の四五名の参加で開催しました。幾人かの質問のあと、事務局から当面のとりくみ「大阪損保革新懇シンポジウム」開催と「憲法改悪反対・損保産業の民主化をめざして」ブックレットの編纂のとりくみを報告し、西谷氏のイラク訪問へのカンパを訴え、ひきつづいて飲食しながら楽しく歓談しました。

【大要】

イラク戦争の本当の目的は？

劣化ウラン弾で被害を被ったのは子どもたち

西谷さんは、イラクの映像をもとに講演され「イラク戦争の本当の目的は何であったのか。現在アメリカ軍とイギリス軍の次に多いのがネパール人などの雇い兵で戦争まで「戦費を安くするため？」民営化されている。戦争で大儲けしたのは、ブッシュ大統領の父親が役員であるカーライルという会社である。アメリカは双子の赤字である財政赤字と貿易赤字で膨らんでいる。国家予算の半分を戦争で出費している。放っておいたらドルは下がるが下がっていない原因は、日本政府が03年度だけで二〇兆円をも円でドルを買って支える役割を果たした。日本政府と中国がアメリカの国債を買って支え戦費を調達した。たかかっているのは貧しい傭兵で1日一〇万円の日当で引き寄せられています。イラクは北側と南側に油田があり、ペルシャ湾に近いバスラは既にイギリスが占領しているため、自衛隊は比較的治安の良い湾に近いサマワに決めた。自衛隊はほとんど民衆にも会わずに政府の役人にあつて金を配り賄賂漬にした。1日に1億円も税金を使い、人道支援をするといながら、現在は多国籍軍



の一日で引き寄せられています。イラクは北側と南側に油田があり、ペルシャ湾に近いバスラは既にイギリスが占領しているため、自衛隊は比較的治安の良い湾に近いサマワに決めた。自衛隊はほとんど民衆にも会わずに政府の役人にあつて金を配り賄賂漬にした。1日に1億円も税金を使い、人道支援をするといながら、現在は多国籍軍

カンパ四八、五〇〇円集まる

イラクの子どもたちへ

西谷さんは、5月連休のあと劣化ウランで苦しんでいる女子を救うためにイラクに訪問されます。講演の後ただちにカンパを訴えたところ、四八、五〇〇円が集まりました。

の一員として武器弾薬を運んでいるといわれている。劣化ウランによって皮膚ガンとなっている子どもたちが沢山いるが、3歳の女の子を日本に連れて帰り顔の治療をさせたいと考えている。九・一一テロで得をしたのはブッシュと軍事産業であった。それまでブッシュの支持率は最低であったのが急激に上がった。損をしたのはイラクとアフガニスタンの民衆であり多くが殺された。日本の報道はこれらの真実を伝えていない。最近では有事法制や国民保護法案を国会で審議中に「白装束」とアザラシの「タマちゃん」を報道していた。権力者はテレビや新聞を活用して国民を騙しにかかるから、今重要な憲法と九条を守るために騙されないことだ。戦争への道に突走られ口封じされることのないよう、自由にモノが言える時代ですから一緒にがんばろう」と、西谷さんの気概と勇気ある行動に感激しました。

東京海上自動社の外勤社員退職を

止めさせる個人署名の取組みに全力を

私たち大阪損保革新懇は、巨額の利益を上げる損保のトップカンパニーである東京海上自動社が外勤社員を強制退職させる提案は絶対許せません。このたび全損保大阪地協から個人署名の取組の要請をうけ、総会アピールで「損保の社会的責任と働く者すべてが大切にされるルールの確立を強く求めていきます。損保産業の民主的発展を願う立場から、たたかう仲間を協力・共同していきます」と確認しています。そのことから私たちは撤回めざして、会社と東京地裁宛の個人署名を取組こととしました。3月末に会員に一斉に署名用紙を送付し、事務局で集約しています。

大阪損保革新懇シンポジウム開催決まる！

二〇〇六年六月一三日(火)午後六時半

場所 大阪府商工会館 七階講堂

○基調報告

○パネリストからの「たたかひの報告と決意」

詳細は後日決定します

大阪損保革新懇ニュース

No. 74
2006. 4. 25

大阪損保革新懇事務局
大阪府中央区道修町三の三の十
大阪屋道修町ビル3F 066332095

4 / 1 2

西谷文和氏『イラクの現実から憲法を考える』 講演会に部屋一杯の四五名の参加で成功！

講演会シリーズ第二弾として、四月二日(水)アイクルの部屋で、フリージャーナリストの西谷文和氏(イラクの子どもを救う会)を招いて『イラクの現実から憲法を考える』と題しての講演会を部屋一杯の四五名の参加で開催しました。幾人かの質問のあと、事務局から当面のとりくみ『大阪損保革新懇シンポジウム』開催と『憲法改憲反対・損保産業の民主化をめざして』ブックレットの編纂のとりくみを報告し、西谷氏のイラク訪問へのカンパを訴え、ひきつづいて飲食しながら楽しく歓談しました。

【大要】

イラク戦争の本当の目的は？
劣化ウラン弾で被害を被ったのは子どもたち

西谷さんは、イラクの映像をもとに講演され『イラク戦争の本筋の目的は何であったのか。現在アメリカ軍とイギリス軍の次に多いのがネパール人などの雇い兵で戦争まで「戦費を安くするため？」民営化されている。戦争で大儲けしたのは、ブッシュ大統領の父親が役員であるカーライルという会社である。アメリカは双子の赤字である財政赤字と貿易赤字で膨らんでいる。国家予算の半分を戦争で出費している。放っておいたらドルは下がるが下がっていない原因は、日本政府が03年度だけで二〇兆円をも円でドルを買い支える役割を果たした。日本政府と中国がアメリカの国債を買い支え戦費を調達した。たかかっているのは貧しい傭兵で1日一〇万円の日当で引き寄せられています。イラクは北側と南側に油田があり、ペルシャ湾に近いバスラは既にイギリスが占領しているため、自衛隊は比較的治安の良い湾に近いサマワに決めた。自衛隊はほとんど民衆にも会わずに政府の役人にあつて金を配り賄賂遣にしたい。1日に1億円も税金を使い、人道支援をするとい



いながら、現在は多国籍軍

カンパ四八、五〇〇円集まる

イラクの子どもたちへ

西谷さんは、5月連休のあと劣化ウランで苦しんでいる女子を救うためにイラクに訪問されます。講演の後ただちにカンパを訴えたところ、四八、五〇〇円が集まりました。

の一員として武器弾薬を運んでいるといわれている。劣化ウランによって皮膚ガンとなっている子どもたちが沢山いるが、3歳の女の子を日本に連れて帰り顔の治療をさせたいと考えている。九・一一テロで得をしたのはブッシュと軍事産業であった。それまでブッシュの支持率は最低であったのが急激に上がった。損をしたのはイラクとアフガニスタンの民衆であり多くが殺された。日本の報道はこれらの真実を伝えていない。最近では有事法制や国民保護法案を国会で審議中に「白装束」とアザラシの「タマチャン」を報道していた。権力者はテレビや新聞を活用して国民を騙しにかかるから、今重要な憲法と九条を守るために騙されないことだ。戦争への道に突走られ口封じされることのないよう、自由にモノが言える時代ですから一緒にがんばろう」と、西谷さんの気概と勇気ある行動に感激しました。

東京海上日動社の外勤社員退職を

止めさせる個人署名の取組みに全力を

私たち大阪損保革新懇は、巨額の利益を上げる損保のトップカンパニーである東京海上日動社が外勤社員を強制退職させる提案は絶対許せません。このたび全損保大阪地協から個人署名の取組の要請をうけ、総会アピールで『損保の社会的責任と働く者すべてが大切にされるルールの確立を強く求めていきます。損保産業の民主的発展を願う立場から、たたかう仲間を協力・共同していきます』と確認しています。そのことから私たちは撤回めざして、会社と東京地裁宛の個人署名を取組こととしました。3月末に会員に一斉に署名用紙を送付し、事務局で集約しています。

大阪損保革新懇シンポジウム開催決まる！

二〇〇六年六月一三日(火)午後六時半

場所 大阪府商工会館 七階講堂

○基調報告

○パネリストからの『たたかひの報告と決意』

詳細は後日決定します